

日野市公営企業会計決算審査意見書



日 監 第 6 1 号
平成 2 3 年(2011年) 8 月 2 4 日

日 野 市 長
馬 場 弘 融 様

日野市監査委員 奥 住 壽

日野市監査委員 菅 原 直 志

**平成 2 2 年度日野市公営企業会計決算
審査意見について**

地方公営企業法(昭和 2 7 年法律第 2 9 2 号)第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、
審査に付された平成 2 2 年度日野市立病院事業会計決算報告書、財務諸表及び関
係証書類について審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第 1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続	1
第 2	審査の結果	2
1	決算諸表について	2
2	経営状況について	2
(1)	収益的収入及び支出について	2
(2)	経営成績について	6
(3)	薬品及び貯蔵品について	1 2
3	資本的収入及び支出について	1 3
(1)	資本的収支状況について	1 3
(2)	建設改良工事について	1 4
(3)	有形固定資産の購入状況について	1 4
4	財政状況について	1 5
第 3	意見・要望等	2 0
参考		2 3

注 記

イ 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。
そのため、合計等と符合しない場合がある。

ロ 比率（％）は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。

ハ 構成比については、内訳の計が 100.0％とならない場合がある。

平成22年度日野市公営企業会計決算 審 査 意 見 書

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成22年度日野市立病院事業会計決算

2 審査の期間

平成23年6月6日から平成23年7月27日まで

3 審査の手続

この審査にあたっては、市長から審査に付された決算関係書類が、公営企業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、諸会計帳票及び証書類との照合等、通常実施すべき手続により審査した。

なお、事業が経済性及び公共性の特質を生かしているかどうかを主眼として考察した。

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、病院事業の経営成績及び財政状態を概ね適正に表示しているものと認められた。

2 経営状況について

(1) 収益的収入及び支出について

ア 収入 (表1)

◎病院事業収益は、71億1,214万7千円で前年度66億9,122万2千円と比べ、4億2,092万5千円(6.3%)の増加となっている。

<対予算収入率92.6%>

○医業収益は、60億8,244万8千円で前年度57億1,695万と比べ、3億6,549万8千円(6.4%)の増加となっている。

<対予算収入率91.2%>

・内訳は、入院収益38億125万2千円で前年度34億8,815万1千円と比べ、3億1,310万1千円(9.0%)の増加、外来収益20億6,099万3千円で前年度20億2,822万8千円と比べ、3,276万5千円(1.6%)の増加、その他医業収益2億2,020万3千円で前年度2億57万1千円と比べ、1,963万2千円(9.8%)の増加となっている。

○医業外収益は、10億2,316万2千円で前年度9億6,372万円8千円と比べ、5,943万4千円(6.2%)の増加となっている。

<対予算収入率101.5%>

・主なものは、国庫補助金301万6千円で前年度286万5千円と比べ15万1千円(5.3%)の増加、都補助金4億135万5千円で前年度3億4,971万3千円と比べ、5,164万2千円(14.8%)の増加、負担金交付金4億9,468万3千円で前年度5億1,315万円2千円と比べ、1,846万9千円(3.6%)の減少、その他医業外収益1億125万5千円で前年度7,719万6千円と比べ、2,405万9千円(31.2%)の増加、他会計補助金2,268万5千円で前年度2,065万6千円と比べ、202万9千円(9.8%)の増加となっている。

○特別利益は、653万7千円で前年度1,054万4千円と比べ、400万7千円(38.0%)の減少となっている。

<対予算収入率130.7%>

表 1

病院事業収益年度比較表

(単位：円：%)

科目	平成22年度		平成21年度		差引増減 (A) - (B)	対21年度 増減率
	(A)	構成 比率	(B)	構成 比率		
病院事業収益	7,112,147,404	100.0	6,691,221,680	100.0	420,925,724	6.3
医業収益	6,082,447,854	85.5	5,716,950,036	85.4	365,497,818	6.4
入院収益	3,801,251,986	53.4	3,488,151,064	52.1	313,100,922	9.0
外来収益	2,060,992,511	29.0	2,028,228,149	30.3	32,764,362	1.6
その他 医業収益	220,203,357	3.1	200,570,823	3.0	19,632,534	9.8
医業外収益	1,023,162,328	14.4	963,727,864	14.4	59,434,464	6.2
受取利息 及び配当金	168,174	0.0	145,984	0.0	22,190	15.2
国庫補助金	3,016,000	0.0	2,865,000	0.0	151,000	5.3
都補助金	401,355,097	5.6	349,712,972	5.2	51,642,125	14.8
負担金 交付金	494,683,000	7.0	513,152,000	7.7	△18,469,000	△3.6
その他 医業外収益	101,255,057	1.4	77,195,908	1.2	24,059,149	31.2
他会計 補助金	22,685,000	0.3	20,656,000	0.3	2,029,000	9.8
特別利益	6,537,222	0.1	10,543,780	0.2	△4,006,558	△38.0
過年度 損益修正益	6,537,222	0.1	10,543,780	0.2	△4,006,558	△38.0
その他 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0

イ 支 出 (表2)

◎病院事業費用は、74億3,758万4千円で前年度72億114万9千円と比べ、2億3,643万5千円(3.3%)の増加となっている。

<対予算執行率96.8%>

○医業費用は、72億4,293万4千円で前年度69億9,868万5千円と比べ、2億4,424万9千円(3.5%)の増加となっている。

<対予算執行率96.9%>

- ・主なものは、給与費33億8,052万4千円で前年度32億9,091万1千円と比べ、8,961万3千円(2.7%)の増加、材料費17億3,272万2千円で前年度17億3,820万9千円と比べ、548万7千円(0.3%)の減少、経費16億2,724万7千円で前年度14億8,152万5千円と比べ、1億4,572万2千円(9.8%)の増加、減価償却費4億7,713万9千円で前年度4億7,079万8千円と比べ、634万1千円(1.3%)の増加となっている。

○医業外費用は、1億9,229万7千円で前年度2億103万6千円と比べ、873万9千円(4.3%)の減少となっている。

<対予算執行率97.4%>

- ・主なものは、支払利息1億8,385万7千円で前年度1億9,360万1千円と比べ、974万4千円(5.0%)の減少となっている。

○特別損失は、235万4千円で前年度142万8千円と比べ、92万6千円(64.8%)の増加となっている。

<対予算執行率47.1%>

- ・特別損失の内訳は、過年度損益修正損235万4千円で前年度142万8千円と比べ、92万6千円(64.8%)の増加となっている。

表2

病院事業費用年度比較表

(単位：円：%)

科目	区分	平成22年度		平成21年度		差引増減 (A) - (B)	対21年度 増減率
		(A)	構成 比率	(B)	構成 比率		
病院事業費用		7,437,584,393	100.0	7,201,149,083	100.0	236,435,310	3.3
	医業費用	7,242,933,711	97.4	6,998,684,600	97.2	244,249,111	3.5
	給与費	3,380,523,620	45.5	3,290,911,044	45.7	89,612,576	2.7
	材料費	1,732,721,964	23.3	1,738,208,819	24.1	△5,486,855	△0.3
	経費	1,627,247,154	21.9	1,481,524,706	20.6	145,722,448	9.8
	減価償却費	477,138,600	6.4	470,797,622	6.5	6,340,978	1.3
	資産減耗費	8,077,741	0.1	1,578,331	0.0	6,499,410	411.8
	研究研修費	17,224,632	0.2	15,664,078	0.2	1,560,554	10.0
	医業外費用	192,296,990	2.6	201,036,190	2.8	△8,739,200	△4.3
	支払利息	183,857,190	2.5	193,600,990	2.7	△9,743,800	△5.0
	電波障害 維持管理費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	消費税及び 地方消費税	8,439,800	0.1	7,435,200	0.1	1,004,600	13.5
	特別損失	2,353,692	0.0	1,428,293	0.0	925,399	64.8
	過年度 損益修正損	2,353,692	0.0	1,428,293	0.0	925,399	64.8
	その他 特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0

ウ 診療報酬の請求と審査減の状況は、表3に示すとおりである。

病院事業収益の中心は診療報酬であり、診療機関が保険者（社会保険診療報酬支払基金等）に請求し、審査委員会の審査を経て収入されるものであるが、審査委員会の査定により減点されることがある。なお、審査減については、見直し後再請求している。

表3

年度別診療報酬請求と審査減の状況

入院

区分		平成22年度	平成21年度	平成20年度
請求	件数	8,717	8,033	6,370
	点数	386,753,019	350,630,497	281,820,955
審査減	件数	204	536	1,527
	点数	192,074	507,926	919,698
請求に対する 審査減の割合(%)	件数	2.3	6.7	24.0
	点数	0.05	0.14	0.33

外来

区分		平成22年度	平成21年度	平成20年度
請求	件数	148,792	146,885	134,360
	点数	205,634,734	202,182,774	191,222,275
審査減	件数	2,016	1,733	1,765
	点数	513,498	416,051	359,653
請求に対する 審査減の割合(%)	件数	1.4	1.2	1.3
	点数	0.25	0.21	0.19

(2) 経営成績について

ア 比較損益計算書（税抜き）は、表4に示すとおりである。

- ・医業損失は、10億1,412万7千円で前年度11億4,198万5千円と比べ、1億2,785万8千円（11.2%）の減少となっている。
- ・経常損失は、3億2,962万1千円で前年度5億1,904万3千円と比べ、1億8,942万2千円（36.5%）の減少となっている。
- ・当年度純損失は、3億2,543万7千円で前年度5億992万7千円と比べ、1億8,449万円（36.2%）の減少となっている。

表4

比較損益計算書

(単位：円：%)

科 目	平成22年度			平成21年度		平成20年度
	金 額	対前年度差引額	対前年度 増減率	金 額	対前年度 増減率	金 額
医 業 収 益 (A)	6,070,322,644	364,706,251	6.4	5,705,616,393	17.3	4,862,556,151
入 院 収 益	3,800,707,759	313,227,400	9.0	3,487,480,359	25.6	2,776,555,914
外 来 収 益	2,059,693,114	32,720,427	1.6	2,026,972,687	5.4	1,922,524,202
その他医業収益	209,921,771	18,758,424	9.8	191,163,347	16.9	163,476,035
医 業 費 用 (B)	7,084,449,583	236,848,516	3.5	6,847,601,067	5.1	6,516,989,891
給 与 費	3,379,552,927	89,769,957	2.7	3,289,782,970	7.5	3,059,205,844
材 料 費	1,650,211,397	△5,227,439	△0.3	1,655,438,836	9.9	1,506,506,823
経 費	1,553,020,351	137,955,381	9.7	1,415,064,970	3.0	1,373,530,165
減価償却費	477,138,600	6,340,978	1.3	470,797,622	△15.7	558,422,489
資産減耗費	8,077,741	6,499,410	411.8	1,578,331	△45.0	2,867,404
研究研修費	16,448,567	1,510,229	10.1	14,938,338	△9.2	16,457,166
医業損益 (C)=(A)-(B)	△1,014,126,939	127,857,735	△11.2	△1,141,984,674	△31.0	△1,654,433,740
医 業 外 収 益 (D)	1,019,237,942	58,472,516	6.1	960,765,426	△20.9	1,215,115,476
受取利息及び配当金	168,174	22,190	15.2	145,984	△69.2	474,524
国庫補助金	3,016,000	151,000	5.3	2,865,000	△25.1	3,823,000
都 補 助 金	401,355,097	51,642,125	14.8	349,712,972	△3.6	362,805,000
負担金交付金	494,683,000	△18,469,000	△3.6	513,152,000	△12.9	589,120,000
その他医業外収益	97,330,671	23,097,201	31.1	74,233,470	20.9	61,392,952
他会計補助金	22,685,000	2,029,000	9.8	20,656,000	△89.5	197,500,000
医 業 外 費 用 (E)	334,731,522	△3,092,120	△0.9	337,823,642	△6.1	359,828,958
支 払 利 息	183,857,190	△9,743,800	△5.0	193,600,990	△3.3	200,159,002
電波障害維持管理費	0	0	0.0	0	皆減	20,952,381
消 費 税	8,439,800	1,004,600	13.5	7,435,200	29.4	5,746,600
雑 損 失	142,434,532	5,647,080	4.1	136,787,452	2.9	132,970,975
医業外損益 (F)=(D)-(E)	684,506,420	61,564,636	9.9	622,941,784	△27.2	855,286,518
経常損益 (G)=(C)+(F)	△329,620,519	189,422,371	△36.5	△519,042,890	△35.1	△799,147,222
特 別 利 益 (H)	6,537,222	△4,006,558	△38.0	10,543,780	△17.3	12,752,336
過年度損益修正益	6,537,222	△4,006,558	△38.0	10,543,780	11.6	9,450,589
特 別 利 益	0	0	0.0	0	皆減	3,301,747
特 別 損 失 (I)	2,353,692	925,399	64.8	1,428,293	△82.4	8,093,618
過年度損益修正損	2,353,692	925,399	64.8	1,428,293	△70.2	4,791,871
特 別 損 失	0	0	0.0	0	皆減	3,301,747
特別損益 (J)=(H)-(I)	4,183,530	△4,931,957	△54.1	9,115,487	95.7	4,658,718
当年度純損益 (K)=(G)+(J)	△325,436,989	184,490,414	△36.2	△509,927,403	△35.8	△794,488,504
前年度繰越利益剰余金	△6,400,099,376	△509,927,403	8.7	△5,890,171,973	15.6	△5,095,683,469
当年度未処理欠損金	6,725,536,365	325,436,989	5.1	6,400,099,376	8.7	5,890,171,973

イ 病院利用状況は、表5に示すとおりである。

表5

病院利用状況等年度比較表

区 分			平成22年度	平成21年度	平成20年度	対21年度 増減率 (ポイント)	備 考	
病 床 数			床 300	床 300	床 300	0.0		
病 床 利 用 率			% 78.8	% 74.9	% 63.0	3.9	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	
患 者	入 院	年 間	人 86,332	人 82,048	人 68,954	5.2	年延入院患者数	
		一 日 平 均	人 236.5	人 224.8	人 188.9	5.2	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{入院診療日数}}$	
	外 来	年 間	人 202,427	人 199,987	人 188,674	1.2	年延外来患者数	
		一 日 平 均	人 833	人 826.4	人 776.4	0.8	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$	
	合 計	年 間	人 288,759	人 282,035	人 257,628	2.4	年延入院＋外来患者数	
		一 日 平 均	人 1,069.5	人 1,051.2	人 965.3	1.7	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{入院診療日数}} + \frac{\text{年延外来患者数}}{\text{外来診療日数}}$	
	外 来 ・ 入 院 患 者 率		% 234.5	% 243.7	% 273.6	△9.2	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	
	数	職 員 一 人 当 たり 患 者 数	医 師 入 院	人 5.4	人 5.5	人 5.4	△1.8	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$
			医 師 外 来	人 12.6	人 13.5	人 14.8	△6.7	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$
		看 護 部 門 職 員	入 院	人 1.2	人 1.1	人 1.0	9.1	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$
外 来			人 2.8	人 2.8	人 2.7	0.0	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$	
対 医 業 収 益 比	材 料 費	薬 品 費	% 17.2	% 18.2	% 21.3	△1.0	$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$	
		診 療 材 料 費	% 10.4	% 11.2	% 10.2	△0.8	$\frac{\text{診療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	
		そ の 他 医 療 材 料 費	% 1.0	% 1.0	% 1.0	0.0	$\frac{\text{その他医療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	
		合 計	% 28.5	% 30.4	% 32.5	△1.9	$\frac{\text{医療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	
	給 与 費	% 55.6	% 57.6	% 62.8	△2.0	$\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$		

ウ 診療科別利用状況は、入院(表6)、外来(表7)に示すとおりである。

表6

診療科別利用状況年度比較表

入院

(単位：人：％：点)

区分 科別	平成22年度				平成21年度				対21年度 延患者数 増減率
	延患者数	構成 比率	収入点数	構成 比率	延患者数	構成 比率	収入点数	構成 比率	
内科	28,946	33.5	103,812,782.4	27.3	24,525	29.9	84,576,997.5	24.2	18.0
循環器科	8,948	10.4	52,595,313.2	13.8	9,147	11.1	50,865,252.4	14.6	△2.2
小児科	4,104	4.8	17,233,769.1	4.5	3,362	4.1	13,063,544.3	3.7	22.1
外科	14,040	16.3	69,378,629.9	18.3	14,212	17.3	67,755,587.6	19.4	△1.2
整形外科	16,876	19.5	73,926,266.0	19.4	17,666	21.5	76,126,277.0	21.8	△4.5
脳神経外科	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	1,341	1.6	4,497,774.2	1.2	913	1.1	3,265,134.0	0.9	46.9
泌尿器科	3,113	3.6	12,840,617.4	3.4	3,357	4.1	12,923,451.7	3.7	△7.3
産婦人科	4,924	5.7	25,014,590.5	6.6	4,517	5.5	19,310,094.7	5.5	9.0
眼科	1,083	1.3	6,235,218.4	1.6	1,140	1.4	6,368,579.1	1.8	△5.0
耳鼻咽喉科	2,241	2.6	11,687,770.4	3.1	2,344	2.9	11,169,946.6	3.2	△4.4
歯科口腔外科	375	0.4	1,518,732.7	0.4	306	0.4	1,329,679.7	0.4	22.5
放射線科	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
麻酔科	341	0.4	1,383,734.4	0.4	559	0.7	2,060,561.8	0.6	△39.0
合計	86,332	100.0	380,125,198.6	100.0	82,048	100.0	348,815,106.4	100.0	5.2

表7

診療科別利用状況年度比較表

外 来

(単位：人：%：点)

区分 科別	平成22年度				平成21年度				対21年度 延患者数 増減率
	延患者数	構成 比率	収入点数	構成 比率	延患者数	構成 比率	収入点数	構成 比率	
内科 (透析含む)	46,739	23.1	76,871,684.2	37.3	44,550	22.3	71,368,166.1	35.2	4.9
循環器科	10,134	5.0	11,285,665.2	5.5	10,240	5.1	11,550,797.4	5.7	△1.0
小児科	9,844	4.9	7,159,366.1	3.5	9,027	4.5	6,970,704.1	3.4	9.1
外科	13,574	6.7	32,180,989.1	15.6	16,275	8.1	33,146,792.2	16.3	△16.6
整形外科	32,653	16.1	19,073,776.4	9.3	31,545	15.8	19,198,701.6	9.5	3.5
脳神経外科	3,310	1.6	2,839,901.7	1.4	3,778	1.9	3,687,209.6	1.8	△12.4
皮膚科	13,075	6.5	5,088,425.5	2.5	13,381	6.7	5,270,727.5	2.6	△2.3
泌尿器科	15,214	7.5	14,884,366.1	7.2	15,145	7.6	15,470,820.8	7.6	0.5
産婦人科	13,516	6.7	9,456,626.7	4.6	13,229	6.6	9,486,156.1	4.7	2.2
眼科	9,998	4.9	7,119,575.4	3.5	9,186	4.6	5,964,499.2	2.9	8.8
耳鼻咽喉科	15,818	7.8	9,787,798.3	4.7	15,323	7.7	9,785,088.3	4.8	3.2
精神科	3,660	1.8	2,108,398.9	1.0	3,532	1.8	1,964,711.1	1.0	3.6
歯科口腔外科	7,337	3.6	3,787,717.9	1.8	6,799	3.4	3,908,263.2	1.9	7.9
リハビリテー ション科	2,336	1.2	1,045,543.5	0.5	2,810	1.4	1,195,847.7	0.6	△16.9
放射線科	303	0.1	777,897.2	0.4	438	0.2	1,173,249.4	0.6	△30.8
麻酔科	4,916	2.4	2,631,518.9	1.3	4,729	2.4	2,681,080.6	1.3	4.0
合計	202,427	100.0	206,099,251.1	100.0	199,987	100.0	202,822,814.9	100.0	1.2

エ 職員配置状況は、表8に示すとおりである。

表8

職員配置状況年度末比較表

(単位：人)

区分 \ 年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	対21年度 差引増減
医師	44	40	37	4
看護職員	195	197	193	△2
医療技術職員	40	41	37	△1
事務職員	21	21	21	0
その他の職員	0	1	1	△1
合計	300	300	289	0

- ・当年度末職員総数は、300人で前年度末と同数である。
- ・当年度末医師数は、44人で前年度末40人と比べ、4人（10.0%）の増加となっている。
- ・当年度末看護職員数は、195人で前年度末197人と比べ、2人（1.0%）の減少となっている。
- ・当年度末医療技術職員数は、40人で前年度末41人と比べ、1人（2.4%）の減少となっている。
- ・当年度末事務職員は、21人で前年度末と同数である。その他の職員は、0人で前年度末1人と比べ、皆減となっている。

注 看護職員：助産師、看護師、准看護師
 医療技術職員：薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、栄養士
 その他の職員：用務員

(3) 薬品及び貯蔵品について

ア 薬品使用効率の年度比較は、次表9に示すとおりである。

- ・薬品使用効率は、62.1%で前年度78.4%と比べ、16.3ポイントの減少となっている。
- ・投薬薬品使用効率は、87.9%で前年度97.7%と比べ、9.8ポイントの減少となっている。
- ・注射薬品使用効率は、48.0%で前年度65.5%と比べ、17.5ポイントの減少となっている。

表9

薬品使用効率年度比較表

(単位：%)

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	備 考
薬品使用効率	62.1	78.4	102.9	$\frac{\text{投薬注射薬品収入}}{\text{投薬注射薬品費}} \times 100$
投薬薬品使用効率	87.9	97.7	106.3	$\frac{\text{投薬薬品収入}}{\text{投薬薬品費}} \times 100$
注射薬品使用効率	48.0	65.5	100.6	$\frac{\text{注射薬品収入}}{\text{注射薬品費}} \times 100$

イ 薬品の管理について

薬品の管理は、入庫から出庫まで薬品管理システムで記録し事務の迅速化が図られ、毒薬、劇薬等は薬事法に基づき普通薬品と明確に区別して保管されており、良好な管理下にあるものと認められた。

ウ 貯蔵品額等の年度比較は次のとおりである。

- ・貯蔵品額は、5,966万3千円で前年度1億1,110万1千円と比べ、5,143万8千円(46.3%)の減少となっている。
 主なものは、薬品5,966万3千円で前年度6,033万4千円と比べ、67万1千円(1.1%)の減少となっている。診療材料費0円で前年度4,864万9千円と比べ、皆減となっている。
- ・資産減耗費のうち棚卸資産減耗費は、149万6千円で前年度83万6千円と比べ、66万円(78.9%)の増加となっている。

3 資本的収入及び支出について

(1) 資本的収支状況について

ア 資本的収支状況は、表10に示すとおりである。

- ・資本的収入は、4億3,160万7千円で前年度9億5,514万円と比べ5億2,353万3千円(54.8%)の減少となっている。

〈対予算収入率99.6%〉

- ・資本的支出は、5億4,099万4千円で前年度4億4,879万9千円と比べ、9,219万5千円(20.5%)の増加となっている。

〈対予算執行率97.2%〉

イ 資本的収入を項別にみると、次のとおりである。

- ・都補助金は、7,130万6千円で前年度6,850万8千円と比べ、279万8千円(4.1%)の増加となっている。
- ・出資金は、2億8,527万9千円で前年度1億9,655万円と比べ、8,872万9千円(45.1%)の増加となっている。
- ・寄附金は、0円で前年度13万円と比べ、皆減となっている。
- ・他会計補助金は、0円で前年度8,990万円と比べ、皆減となっている。

ウ 資本的支出を項別にみると、次のとおりである。

- ・建設改良費は、1億8,554万7千円で前年度9,318万7千円と比べ、9,236万円(99.1%)の増加となっている。
- ・企業債償還金は、3億5,532万5千円で前年度3億4,834万2千円と比べ、698万3千円(2.0%)の増加となっている。
- ・基金積立金は、2万2千円で前年度17万6千円と比べ、15万4千円(87.5%)の減少となっている。

表10

資本的収支状況年度比較表

(単位：円：%)

科目	区分	平成22年度		平成21年度		差引増減 (A) - (B)	対21年度 増減率
		(A)	構成 比率	(B)	構成 比率		
収 入	資本的収入	431,606,878	100.0	955,140,002	100.0	△ 523,533,124	△ 54.8
	都補助金	71,305,809	16.5	68,507,910	7.2	2,797,899	4.1
	出資金	285,279,000	66.1	196,556,000	20.6	88,723,000	45.1
	寄附金	0	0.0	130,000	0.0	△ 130,000	皆減
	基金積立金 利息	22,069	0.0	46,092	0.0	△ 24,023	△ 52.1
	企業債	75,000,000	17.4	0	0.0	75,000,000	皆増
	他会計 補助金	0	0.0	89,900,000	9.4	△ 89,900,000	皆減
	他会計からの 長期借入金	0	0.0	600,000,000	62.8	△ 600,000,000	皆減
支 出	資本的支出	540,993,915	100.0	448,798,665	100.0	92,195,250	20.5
	建設改良費	185,546,526	34.3	93,186,604	20.8	92,359,922	99.1
	助産師、看 護師貸付金	100,000	0.0	7,094,000	1.6	△ 6,994,000	△ 98.6
	企業債 償還金	355,325,320	65.7	348,341,969	77.6	6,983,351	2.0
	基金積立金	22,069	0.0	176,092	0.0	△ 154,023	△ 87.5

エ 企業債償還状況は、表11に示すとおりである。

表11

企業債償還状況

(単位：円)

発行総額	償還額		平成22年度末 現在高
	当年度償還額	償還額累計	
10,494,000,000	355,325,320	1,542,966,013	8,951,033,987

(2) 建設改良工事について

当年度建設改良工事はなかった。

(3) 有形固定資産の購入状況について

有形固定資産購入状況は、表12に示すとおりである。

医療器械等購入費は、1億8,554万7千円で前年度9,318万7千円と比べ、9,236万円(99.1%)の増加となっている。

表12

有形固定資産購入状況表（1機100万円以上）

品名	数量	メーカー・規格	購入額 (円)	設置場所	納入年月日
胎児集中監視システム	1	アトムメディカル AFD-32 A/24患者 XP版	2,499,000	4階東病棟	H22.6.17
大動脈内バルーンポンプ	2	マッケジャパン CS300	18,900,000	血管造影室	H22.10.13
水剤監査システム	1	ユヤマ Oney (RCS-620)	1,554,000	薬剤科	H22.11.29
経尿道的内視鏡手術装置	1	オリンパス VISERA-OFFICEセット	4,116,000	手術室	H22.11.30
超音波画像診断装置	1	GEヘルスケア Venue40	3,654,000	手術室	H22.12.20
オサダポータブル ユニットデジター	1	長田電機工業 OPU-D	1,249,500	歯科口腔 外科外来	H22.12.20
眼軸長測定装置	1	トーマー OA-1000 AL-4000	3,780,000	眼科外来	H23.2.9
膀胱鏡セット	1	オリンパス VISERA-OFFICEセット	4,725,000	泌尿器科外来	H23.2.17
マルチスライス CT撮影装置	1	GEヘルスケア OptimaCT660PRO	79,000,000	放射線科	H23.3.24
高・低体温維持装置	1	IMI メディスーム3 標準セット	1,158,150	手術室	H23.3.25
血球分析システム (HSトランスポーター ションシステム)	1	シスメックス XE-AlphaN	17,955,000	臨床検査科	H23.3.30
尿検査搬送システム	1	シスメックス UX-2000	9,397,500	臨床検査科	H23.3.30
器械洗浄機(バリメド)	2	村中医療 WD290ND	17,482,500	手術室	H23.3.31

4 財政状況について

病院事業の財政状況は、表13に示すとおりである。

(1) 資産総額は、113億7,964万9千円で前年度116億6,295万7千円と比べ、2億8,330万8千円（2.4%）の減少となっている。

ア 固定資産は、100億8,686万9千円で前年度104億9,093万8千円と比べ、4億406万9千円（3.9%）の減少となっている。

（ア）有形固定資産は、100億2,925万5千円で前年度104億3,215万1千円と比べ、4億289万6千円（3.9%）の減少となっている。内訳は、立木・建物・構築物は、前年度と同額である。器械備品は、32億4,126万8千円で前年度32億9,181万5千円と比べ、5,054万7千円（1.5%）の減少、車両は、0円で前年度と同額である。なお、償却資産は、減価償却を行っている。

(イ) 無形固定資産は、10万2千円で前年度と同額である。

イ 流動資産は、12億9,278万円で前年度11億7,201万9千円と比べ、1億2,076万1千円(10.3%)の増加となっている。

(ア) 現金預金は、2億3,343万1千円で前年度8,698万5千円と比べ、1億4,644万6千円(168.4%)の増加となっている。

(イ) 未収金は、9億8,122万7千円で前年度9億6,639万1千円と比べ、1,483万6千円(1.5%)の増加となっている。

(ウ) 貯蔵品は、5,966万3千円で前年度1億1,110万1千円と比べ、5,143万8千円(46.3%)の減少となっている。

(エ) 前払金は、316万5千円で前年度236万9千円と比べ、79万6千円(33.6%)の増加となっている。

(オ) 保管有価証券は、0円で前年度と同一である。

(カ) その他流動資産は、1,529万4千円で前年度517万3千円と比べ、1,012万1千円(195.7%)の増加となっている。

ウ 繰延勘定は、0円で前年度と同一である。

(2) 負債総額は、12億7,510万2千円で前年度12億453万2千円と比べ、7,057万円(5.9%)の増加となっている。

ア 固定負債は、6億5,382万3千円で前年度6億2,724万7千円と比べ、2,657万6千円(4.2%)の増加となっている。

(ア) 退職給与引当金は、121万3千円で前年度1万2千円と比べ、120万1千円(9,753.8%)の増加となっている。

(イ) 修繕引当金は、5,261万円で前年度2,723万5千円と比べ、2,537万5千円(93.2%)の増加となっている。

(ウ) 他会計借入金は、6億円で前年度と同額である。

- イ 流動負債は、6億2,127万8千円で前年度5億7,728万5千円と比べ、4,399万3千円（7.6%）の増加となっている。
- (ア) 未払金は、6億1,558万2千円で前年度5億7,127万1千円と比べ、4,431万1千円（7.8%）の増加となっている。
- (イ) 医業前受金は、443万7千円で前年度470万円と比べ、26万3千円（5.6%）の減少となっている。
- (ウ) 預り有価証券は、0円で前年度と同一である。
- (エ) その他流動負債は、125万9千円で前年度131万4千円と比べ、5万5千円（4.2%）の減少となっている。
- (3) 資本総額は、101億454万7千円で前年度104億5,842万5千円と比べ、3億5,387万8千円（3.4%）の減少となっている。
- ア 資本金は、150億6,155万2千円で前年度150億5,659万9千円と比べ、495万3千円（0.03%）の増加となっている。
- (ア) 自己資本金は、61億1,051万8千円で前年度58億2,523万9千円と比べ、2億8,527万9千円（4.9%）の増加となっている。
- (イ) 借入資本金は、89億5,103万4千円で前年度92億3,135万9千円と比べ、2億8,032万5千円（3.0%）の減少となっている。
- イ 剰余金は、△49億5,700万5千円で前年度△45億9,817万4千円と比べ、3億5,883万1千円（7.8%）の減少となっている。
- (ア) 資本剰余金は、17億6,853万1千円で前年度18億192万6千円と比べ、3,339万5千円（1.9%）の減少となっている。主なものは、国庫補助金2億929万7千円で前年度と同額、都補助金13億1,597万円と前年度13億4,938万6千円と比べ、3,341万6千円（2.5%）の減少、他会計補助金1億9,240万円と前年度と同額となっている。
- (イ) 欠損金は、67億2,553万6千円で前年度64億9万9千円と比べ、3億2,543万7千円（5.1%）の増加となっている。

表13

比較貸借

科 目		借 方								
		平成22年度				平成21年度			平成20年度	
		金額	構成比	対前年度差引額	対前年度増減率	金額	構成比	対前年度増減率	金額	構成比
資 産 の 部	固 定 資 産	10,086,868,606	88.6	△404,069,731	△3.9	10,490,938,337	90.0	△3.4	10,865,522,652	91.5
	有形固定資産	10,029,254,882	88.1	△402,895,800	△3.9	10,432,150,682	89.4	△3.5	10,814,005,089	91.0
	土 地	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	立 木	34,986,000	0.3	0	0.0	34,986,000	0.3	0.0	34,986,000	0.3
	建 物	12,156,289,428	106.8	0	0.0	12,156,289,428	104.2	0.0	12,156,289,428	102.3
	構 築 物	113,258,350	1.0	0	0.0	113,258,350	1.0	0.0	113,258,350	1.0
	器 械 備 品	3,241,268,110	28.5	△50,547,369	△1.5	3,291,815,479	28.2	2.5	3,211,616,045	27.0
	車 両	0	0.0	0	0.0	0	0.0	皆減	3,288,133	0.0
	減価償却累計額	5,516,547,006	△48.5	352,348,431	6.8	5,164,198,575	△44.3	9.7	4,705,432,867	△39.6
	無形固定資産	101,508	0.0	0	0.0	101,508	0.0	0.0	101,508	0.0
	電話加入権	101,508	0.0	0	0.0	101,508	0.0	0.0	101,508	0.0
	投 資	57,512,216	0.5	△1,173,931	△2.0	58,686,147	0.5	14.1	51,416,055	0.4
	長期貸付金	6,648,000	0.1	△1,196,000	△15.2	7,844,000	0.1	945.9	750,000	0.0
	基 金	50,864,216	0.4	22,069	0.0	50,842,147	0.4	0.3	50,666,055	0.4
	流 動 資 産	1,292,780,445	11.4	120,761,432	10.3	1,172,019,013	10.0	15.7	1,013,205,912	8.5
	現 金 預 金	233,430,712	2.1	146,445,447	168.4	86,985,265	0.7	△2.6	89,265,489	0.8
	未 収 金	981,227,230	8.6	14,836,598	1.5	966,390,632	8.3	19.6	807,845,179	6.8
	貯 蔵 品	59,663,253	0.5	△51,437,843	△46.3	111,101,096	1.0	0.1	110,945,177	0.9
	前 払 金	3,165,250	0.0	796,230	33.6	2,369,020	0.0	221.4	737,067	0.0
	保管有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
その他流動資産	15,294,000	0.1	10,121,000	195.7	5,173,000	0.0	17.2	4,413,000	0.0	
繰 延 勘 定	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
新病院建設費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	
資 産 合 計	11,379,649,051	100.0	△283,308,299	△2.4	11,662,957,350	100.0	△1.8	11,878,728,564	100.0	

対 照 表

(単位：円：％)

科 目		貸 方								
		平成22年度				平成21年度			平成20年度	
		金 額	構成比	対前年度差引額	対前年度増減率	金 額	構成比	対前年度増減率	金 額	構成比
負債の部	固定負債	653,823,486	5.7	26,576,472	4.2	627,247,014	5.4	9,876.0	6,287,575	0.1
	退職給与引当金	1,213,196	0.0	1,200,884	9,753.8	12,312	0.0	0.0	12,312	0.0
	修繕引当金	52,610,290	0.5	25,375,588	93.2	27,234,702	0.2	334.0	6,275,263	0.1
	他会計借入金	600,000,000	5.3	0	0.0	600,000,000	5.1	皆増	0	0.0
	流動負債	621,278,390	5.5	43,992,935	7.6	577,285,455	4.9	△36.4	907,472,513	7.6
	一時借入金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	皆減	450,000,000	3.8
	未払金	615,581,970	5.4	44,310,515	7.8	571,271,455	4.9	26.2	452,606,513	3.8
	医業前受金	4,437,420	0.0	△262,580	△5.6	4,700,000	0.0	32.8	3,540,000	0.0
	預り有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	その他流動負債	1,259,000	0.0	△55,000	△4.2	1,314,000	0.0	△0.9	1,326,000	0.0
負債合計	1,275,101,876	11.2	70,569,407	5.9	1,204,532,469	10.3	31.8	913,760,088	7.7	
資本の部	資本金	15,061,552,198	132.4	4,953,680	0.0	15,056,598,518	129.1	△1.0	15,208,384,487	128.0
	自己資本金	6,110,518,211	53.7	285,279,000	4.9	5,825,239,211	49.9	3.5	5,628,683,211	47.4
	借入資本金	8,951,033,987	78.7	△280,325,320	△3.0	9,231,359,307	79.2	△3.6	9,579,701,276	80.6
	企業債	8,951,033,987	78.7	△280,325,320	△3.0	9,231,359,307	79.2	△3.6	9,579,701,276	80.6
	剰余金	△4,957,005,023	△43.6	△358,831,386	7.8	△4,598,173,637	△39.4	8.4	△4,243,416,011	△35.7
	資本剰余金	1,768,531,342	15.5	△33,394,397	△1.9	1,801,925,739	15.4	9.4	1,646,755,962	13.9
	国庫補助金	209,297,237	1.8	0	0.0	209,297,237	1.8	0.0	209,297,237	1.8
	都補助金	1,315,969,889	11.6	△33,416,466	△2.5	1,349,386,355	11.6	5.1	1,284,292,670	10.8
	他会計補助金	192,400,000	1.7	0	0.0	192,400,000	1.6	87.7	102,500,000	0.9
	寄附金	50,661,475	0.4	0	0.0	50,661,475	0.4	0.3	50,531,475	0.4
	基金積立金利息	202,741	0.0	22,069	12.2	180,672	0.0	34.2	134,580	0.0
	欠損金	6,725,536,365	△59.1	325,436,989	5.1	6,400,099,376	△54.9	8.7	5,890,171,973	△49.6
	当年度未処理欠損金	6,725,536,365	△59.1	325,436,989	5.1	6,400,099,376	△54.9	8.7	5,890,171,973	△49.6
資本合計	10,104,547,175	88.8	△353,877,706	△3.4	10,458,424,881	89.7	△4.6	10,964,968,476	92.3	
負債資本合計	11,379,649,051	100.0	△283,308,299	△2.4	11,662,957,350	100.0	△1.8	11,878,728,564	100.0	

第3 意見・要望等

平成22年度市立病院事業会計決算における損益の状況は、平成21年2月に策定した「日野市立病院改革プラン（経営健全化計画）」に沿って経営改善及び意識改革に努めた結果、純損失額が3億2,543万7千円で、前年度5億992万7千円と比較すると1億8,449万円（36.2%）減少した。

病院利用状況は、入院患者数8万6,332人で、前年度比5.2%増加した。病床利用率は78.8%で、前年度比3.9ポイント増加した。外来患者数は20万2,427人で、前年度比1.2%増加した。

収益的収支の状況は、病院事業収益が71億1,214万7千円で、前年度比6.3%増加した。うち医業収益は60億8,244万8千円で、前年度比6.4%増加した。医業収益のうち、入院収益は38億125万2千円で、前年度比9.0%増加した。外来収益は20億6,099万3千円で、前年度比1.6%増加した。医業収益の増は病床利用率と外来患者数の増加及び入院患者1人当たり単価が増加したことによるものである。

病院事業費用は74億3,758万4千円で、前年度比3.3%増加した。うち医業費用は72億4,293万4千円で、前年度比3.5%増加した。医業費用の増は給与費が職員数の増加により2.7%増加、材料費は0.3%減少したものの、経費が委託料、賃借料及び光熱水費の増加のため、9.8%増加したことによるものである。

資本的収入及び支出の状況は、資本的収入が4億3,160万7千円で、前年度比54.8%減少した。今年度は企業債7,500万円を借り入れた。

資本的支出は5億4,099万4千円で前年度比20.5%増加した。うち有形固定資産購入費は1億8,554万7千円で、耐用年数が経過した医療機器の購入を行った。企業債償還金は3億5,532万5千円である。

平成22年度の市立病院の経営成績は、純損失額が前年度と比較して1億8,449万円（36.2%）減少し、経営改善が図られたが、依然として3億2,543万7千円の赤字決算になっている。また、平成22年度末未処理欠損金は67億2,553万6千円に増加した。

主な経営指標で前年度と「市立病院改革プラン」の目標数値との比較をしてみると、経常収支比率は95.6%で、前年度比2.8ポイントの増加であったが、目標値に比べると4.9ポイント下回った。

医業収支比率は89.4%で、前年度比2.4ポイントの増加であったが、目標値に比べると5.5ポイント下回った。

給与費対医業収益比率は43.1%で、前年度比2.4ポイントの減少であったが、目標値に比べると3.4ポイント上回った。

材料費対医業収益比率は26.0%で、前年度比1.8ポイントの減少で、目標値に比べ1.1ポイント下回った。

病床利用率は78.8%で、前年度比3.9ポイントの増加であったが、目標値に比べると5.2ポイント下回った。

医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、公立病院の経営状況は極めて厳しい状況に置かれているが、地域の中核病院として、引き続き経営改善に取り組むとともに、良質な医療を継続して提供できる体制を構築することを期待する。また今後も職員の意識改革を進め、市立病院が市民から信頼され選ばれる病院となることを期待する。

次に、平成22年度の決算審査において3点の要望をする。

1 経営指標のさらなる改善に向けて

経営改善及び意識改革に努めた結果、前年度に比較して改善しているが、さらに改善するために、収益については、病床利用率、患者紹介率の向上、及び請求漏れ等の防止を図る。費用については、薬品や診療材料の在庫管理の徹底を図るとともに、委託経費についても内容及び方法を十分に精査し、市立病院改革プランの目標値を達成していくよう全力で取り組んで頂きたい。

2 会計基準について

社会保険診療報酬支払基金等からの支払いは、2ヵ月後でなければ収益として計上されない。

当月の稼働収益を当月の成績として表示することにより、正しい期間損益計算

を通じて正しい経営判断ができ、かつ、携わった職員の誇りにも通じるものと思慮されるので、現金主義会計から発生主義会計に変更することを引き続き検討して頂きたい。

3 薬剤・医療材料管理の一括委託について

薬剤・医療材料の購入から管理までを一括委託としたことによる人的、経営的効果について、今後、十分に検証を行い、さらなる効率化に向けて検討を続けて頂きたい。

注：主な経営指標は「地方公営企業決算の状況」の数値を使用し、消費税額を含まないため、決算数値とは異なる。

参 考

収益的収入及び支出等の推移

(単位：円：％：ポイント)

内訳		年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	対21年度増減比較		
						増減額	増減率	増減
医 業 収 益 (A)			6,082,447,854	5,716,950,036	4,872,321,391	365,497,818	6.4	—
内 訳	入 院 収 益		3,801,251,986	3,488,151,064	2,777,130,518	313,100,922	9.0	—
	外 来 収 益		2,060,992,511	2,028,228,149	1,923,716,589	32,764,362	1.6	—
	そ の 他 医 業 収 益		220,203,357	200,570,823	171,474,284	19,632,534	9.8	—
繰 入 金	一般会計 繰入金	負担金交付金	494,683,000	513,152,000	589,120,000	△18,469,000	△3.6	—
		補助金	22,685,000	20,656,000	197,500,000	2,029,000	9.8	—
入 金	国 庫 補 助 金		3,016,000	2,865,000	3,823,000	151,000	5.3	—
	都 補 助 金		401,355,097	349,712,972	362,805,000	51,642,125	14.8	—
	合 計		921,739,097	886,385,972	1,153,248,000	35,353,125	4.0	—
医 業 費 用 (B)			7,242,933,711	6,998,684,600	6,661,143,415	244,249,111	3.5	—
職 員 給 与 費 (C)			3,380,523,620	3,290,911,044	3,060,122,962	89,612,576	2.7	—
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 C / A			55.6	57.6	62.8	—	—	△2.0
病 床 利 用 率			78.8	74.9	63.0	—	—	3.9
医 業 収 支 比 率 A / B			84.0	81.7	73.1	—	—	2.3